

【 競 技 及 び 審 判 上 の 注 意 】

- (1) 今大会は現行の日本バドミントン協会競技規則および同運営規定に準じて行なわれる。
- (2) 本部の指示があるまではコート内での練習は認めない。
- (3) 試合がコールされてから3分間以内にコートへ入らない場合は棄権と見なす。
- (4) ゲーム中どちらかのサイドが11ポイントに達したら60秒、各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認める。また、インターバル時に指定区域内で、監督など大会登録者からアドバイスをうけることができる。但し、人数は2名までとする。
- (5) 試合中のけがや病気の手当や処置について、コートに入ることを許されるのは、必要と認められる医療補助員と競技役員長（レフェリー）及び競技審判部長だけである。
- (6) 審判は担当校を本部が指示するので、指定された人数を出すこと。
- (7) 主審は特にサーバー及びレシーバーにおける「フォルト」について注意し、フォルトの場合には速やかにコールすること。また、競技規則に係る訴えに限り、主審が判断できないものは、競技役員長（レフェリー）に確認する。
サービスジャッジについては主審と競技役員長（レフェリー）が協議して、必要があると認めた場合に限り任命することができる。
その他、試合中に審判上のことでトラブルが生じたときは、速やかに競技役員長（レフェリー）に報告を行い、その指示に基づいて行動すること。
- (8) ラインジャッジは担当ラインについてシャトルが「イン」か「アウト」を判定する。「アウト」の場合には、はっきりとコールすること。
- (9) 試合中における水分の補給は、フタができ倒れてもこぼれない容器に限り認める。
- (10) 背中に県名、校名の付いたユニフォームを着用するか、またはゼッケンをつけること。
- (11) その他、開始式のときの注意を守ること。

【 簡 易 ゲ ー ム に つ い て 】

簡易ゲームを以下の通り行う。

- | | |
|----------|---|
| 1年生シングルス | 全ての試合。 |
| その他の個人戦 | ベスト32以降を正規ルールとし、それまでは簡易ゲームを行う。
但し、当日の試合進行でベスト32以降の簡易ゲームを行う場合もある。 |

※ 簡易ゲーム

- ・15点3ゲーム（2ゲーム先取）
- ・延長ゲームなし
- ・ゲーム間のインターバル60秒
- ・ファイナル時はチェンジエンドなし

【 学 校 対 抗 戦 の 注 意 】

- (1) オーダー用紙は本部より指示があったら、正副2部を速やかに提出すること。
- (2) エントリーメンバー変更は、大会当日の監督会議終了までに所定の様式に従って申請する。
- (3) ベンチに入れる者はメンバー表に提出されている監督・コーチ・マネージャー・選手のみとする。
- (4) 試合順序は、第1複（D1）、第2複（D2）、第1単（S1）、第2単（S2）、第3単（S3）の順で実施する。なお、S1は複を兼ねることはできない。
- (5) 試合はすべて3マッチ先取方式で行う。